

北海道原水協 F A X ニュース

原水爆禁止北海道協議会 エメール hokkaidogensuikyoku@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 2018年12月19日

私たちが、禁止条約に参加する政府をつくらう

江別市議会は 「平和都市宣言」を生かす立場に
政府に「核兵器禁止条約参加を」の請願 自民党に公明党も不採択!!!

～ 江別原水協ニュースより転載 ～

核兵器を禁止するため、12月市議会に請願しました。

紹介は、民主・市民の会の赤坂伸一議員と共産党議員団の吉本和子議員です。

請願趣旨は、

- ① 核兵器の禁止条約に署名・批准する国が増え、効力の発揮は現実的に、
- ② 朝鮮半島の平和の流れが画期的にすすみ、
- ③ 国連総会の第1号決議は、核の廃絶。江別市平和都市宣言も「世界唯一の被爆国として・・・」と謳い、核兵器の禁止・廃絶は市民の願い、
- ④ 道内でも議会意見書採択や「ヒバクシャ国際署名」がひろがり、とりわけ江別市“平和の集い”はすべての小、中、高の代表参加など、若い世代に恒久平和を意識してもらう意義ある集会として、引き継がれています・・・全会一致で「平和都市宣言」を採択した市議会として意見書を出してほしいという請願です。

所管の委員会

民主・市民の会の岡村繁美議員が賛成の立場で、自由クラブの角田一議員が反対の立場で意見を表明。採決では、公明党も反対し不採択とされました。

12月13日の本会議では

共産党議員団の高橋典子議員が賛成の立場で意見を表明、自民党クラブの清水直幸議員は反対の立場で、民主・市民の会の諏訪部容子議員は賛成の立場で意見を表明しました。

採決の結果は

民主・市民の会、共産党市議団、江別未来づくりの会は採択でしたが、自民クラブ、公明党は不採択とし、否決されました。

世界の国々が核兵器禁止条約を推進しつつあるとき、日本政府が核兵器禁止条約に参加してという陳情・請願に、被爆国の政党・・・自民党や公明党が、江別市議会では反対というのです。非人道的で大量殺戮の核兵器使用や威嚇を禁止し、廃絶すべきというのは、日本人の常識ではないでしょうか。

まして江別では、満場一致で平和都市宣言に賛成し、恒久平和の碑前で“平和の集い”も続けています。江別市議会は平和都市宣言をさらに前に進めるため先頭に立っていただきたいものです。

??公明党の意見は??

昨年の陳情と今年の請願に対して、公明党は一度も審議に参加せず反対し、不採択としました。なぜ反対するのか、市民にわかる意見の表明は必要ではないでしょうか？（自民クラブは毎回、意見を表明し、不採択を表明しています。）

～道内の平和都市宣言は123自治体。江別市平和都市宣言は2014年8月15日策定～

★ 道内の意見書決議は38地方議会

市民の力で可決まであと一歩！ 富良野市議会!!!

「大きな共同の輪が広がって、3月議会では可決される見通しが出てきました。

引き続きガンバルゾ」。富良野実行委員会の坂井司さんからの12/17付け続報です。

■■ 皆さんの取り組みの様子、新春に向けての予定などお知らせください ■■

